地域コミュニティ NEWS

龍ケ崎市マスコット
キャラクター「まいりゅう」

回　覧

第10号　令和元年5月15日発行
【編集・発行】
龍ケ崎市役所 市民生活部 コミュニティ推進課
コミュニティ推進グループ
☎0297-64-1111　内線438・439

「馴馬台地域ひなっこ協議会」がスタートしました。

～設立総会で規約、役員、事業計画、予算を決定～

馴馬台地域では、地域内全住民自治組織14地区の承認を受け、設立準備会を設置し、地域コミュニティへ移行する前提として、①各住民自治組織の負担が増加しないこと、②地域情報の共有化や住民の連携協力の輪が拡大することをコンセプトに、これまで話し合いを行ってきました。

平成30年6月3日（日）、馴馬台地域ひなっこ協議会（田島　俊二会長）設立総会を開催し、各委員会での活動をスタートしました。市内で12番目の中核的な地域コミュニティとなります。特色のある協議会名については、馴馬台小学校で募集を行いました。

◆協議会名の「ひなっこ」に込められた意味について
3つの地域が、協力し合える親しみのあるまちづくりを目指すことをイメージして、平台の「ひ」・馴馬の「な」・小柴の「こ」を一番言いやすいように組み合わせました。
（馴馬台小学校3年生より応募）

コミュニティ推進課からのお知らせ

～豊田町集会所が新しくなりました～

豊田町集会所は、築60年以上が経過していました。

これまで、小貝川決壊による床下浸水や、東日本大震災の被害も受けており、老朽化が進み倒壊の可能性も高く、地区の中心的な役割を担う施設としては好ましい状況ではありませんでした。

こうした状況を踏まえ、平成30年度に「龍ケ崎市地域集会施設建設等補助金」の助成を受け、耐震性を備えた、地域コミュニティ形成の核となるような会議室や、バリアフリー化されたトイレを設置し、高齢者を含め住民が安心して利用できる集会所を建設しました。

新たな集会所は、土地をかさ上げ補強した上に建設し、水害時に住民の安全を確保する一時避難所として活用できる施設にしたいと地域では考えています。

各地区の活動から

龍ケ崎西コミュニティ協議会

～本格的なステージ発表を満喫！～

9月12日（水）文化会館小ホールに於いて、「第4回敬老お楽しみ会」を開催しました。会場は、津軽三味線「など○（わ）ど会」で幕が開き、ダイナミックな演奏と歌声に皆さん聞き惚れていました。マジックショーは、シャーミン国府田さんのお弟子さん２人が出演し、楽しい手品と妙技に目を奪われ拍手喝采となりました。午後の部は、まぜご飯・唐揚げ・豚汁などが振る舞われ、また、お土産の紅白まんじゅうで、お祝いの席が一層盛り上がりました。総勢169名と大規模な企画となり、龍ケ崎西コミュニティ協議会の活気あふれる楽しい一日となりました。

馴柴まちづくり協議会

～大盛況「まつり・なれしば」～

10月21日（日）馴柴小学校において、佐貫商店会の協力を得て、「第４回まつり・なれしば」を開催しました。例年の2月開催を変更し、気候の良い10月に馴柴小ＰＴＡバザーとの合同開催としました。当日は好天に恵まれ約1,500人の参加者が来場し、用意した抽選券が10時半頃には無くなってしまい、抽選会を楽しみに来られた方には申し訳ありませんでした。今年は、ＰＴＡバザーとの合同開催ということもあり、多くの子ども達が来場し、綿あめ・ポップコーン・グラウンドゴルフ・輪投げの体験コーナー、射的ゲーム等に行列ができ大盛況でした。また、今年はちゃんこ鍋に代わり芋煮鍋を提供し、参加者に大好評でした。

大宮ふるさと協議会

～救急救命講習会～

平成31年2月24日（日）、龍ケ崎消防署に於いて消防署職員と指導員のもと、救急救命会を開催しました。救命の連鎖について、初期認識と通報、一時救命処置の大切さを学び、実際に胸骨圧迫の仕方やAEDの使用方法を行いました。初めてのことで戸惑うことばかりでしたが、万が一の場面に遭遇した時にも積極的に救助協力ができると自信もつき、①時々イメージトレーニングをして忘れないようにすることが大切。②傷病者を発見したら、周りの安全確認をし、119番通報、AED手配。自宅近くだと何処にAEDが有るのか知っておくことも大切。③不測の事態に慌ててしまいがちですが、落ち着いてはっきり伝えられることが大切。ということを学びました。

各地区の活動から

北文間コミュニティ協議会

～クリスマス上映会～

12月２日（日）、クリスマス上映会をしました。映画スタンド・バイミーを上映し、「おじいちゃん、おばあちゃん、先祖を大事にしてね」という内容で、幼児には少し難しかったようでしたが、最後まで食い入るように鑑賞していました。その後は、ビンゴ大会で大変盛り上がりました。最近は核家族の時代ですが、三世代の繋がりの重要性を感じました。参加者は幼児16名、全員で約50名の参加でした。

久保台小学校区わくわく協議会

～子供たちの笑顔あふれるわくわく祭り～

昨年は小学校のＰＴＡ祭りと同日開催、今年は拡大して小学校も含めたお祭りを開催しました。会場は、小学校の体育館とコミュニティセンター、その２か所をつなぐ遊歩道にも趣向を凝らした模擬店などが出店しました。参加人数は天候にも恵まれ２日間で延べ800人を超え大盛況。最後は毎年恒例の大抽選会で、当選者の発表にはみんな一喜一憂し歓喜のなか、お祭りを終えることができました。

長山地域コミュニティ協議会

～笑顔と歓喜に沸いた「長山秋祭り」～

長山地域コミュニティ協議会では、毎年、秋祭りと称して、自治会対抗の運動会を実施しています。今年は、「この街を作ろう、絆と健康」をスローガンに、実行委員を中心に４月から準備を行って来ました。当日は天候が危ぶまれましたが、何とか最後までグラウンドで実施することができました。参加者は千人を超え、多くの方々と交流を深めることができました。参加者からも、楽しかった、来年もまたやろうといった声が聴かれました。

川原代ふれあい協議会

～伝統のならせ餅・鳥追い祭り～

川原代ふれあい協議会では、五穀豊穣と無病息災を願い、朝早くから紅白の餅を作り、椿の木に640個の餅の花を咲かせました。

昼食にはお雑煮、あんこ餅、きな粉餅が振る舞われました。夕方からは竹で作った小屋の中にだるま、お札、しめ縄等を入れ、お焚き上げを行い勇壮な伝統行事を行いました。火が弱まった頃に、篠に刺した餅を焼き１年の健康を願いながら食べました。

城ノ内コミュニティ協議会

～地域で困っている人の味方　お助け隊～

城ノ内コミュニティ協議会の大きな特徴は、城ノ内ボランティアセンターのお助け隊です。平成25年10月の発足から平成30年12月までに、679件の多くの人たちのお手伝いをしています。主な内容は、車を利用した通院や買い物の付き添いです。次に多いのは庭仕事の手伝いです。

私たちは「地域で困っている人に対して手伝いをできる人が、自分の出来る範囲・時間でほんの少しの簡単なお手伝い」を行っています。

各地区の活動から

八原まちづくり協議会

～笑顔いっぱい、花いっぱい～

たつのこやまのふもと、龍ヶ岡公園の歩道に季節の花を植え、育てています。みなさんは、龍ヶ岡公園の管理棟からたつのこアリーナに続く歩道に植えてある花を知っていますか？名前は“カンナ“と言います。昭和49年の第29回茨城国体の際に、大会応援花として植えられた花です。今年は茨城県で２度目の国体が開催されます。柔道の競技会場として使用されるたつのこアリーナに続くこの道で、カンナを咲かせて、大会を盛り上げようと日々がんばっています。

馴馬台地域ひなっこ協議会

～馴馬台地域ひなっこまつり～

馴馬台地域ひなっこ協議会が本年度発足して初めての、第１回「ひなっこまつり」が11月10日（土）、11日（日）にわたって開催され、天気にも恵まれ、多数の参加者が会場に集まりました。１日目は、フラダンスなど７組の演芸披露が行われ、また切り絵や油彩画などの作品8組が展示されました。２日目は、馴馬台小学校児童による金管バンド「アニマート」の演奏に始まり、焼きそばや豚汁などの模擬店、お餅の無料配布、抽選会や輪投げなど、子供も大人も楽しくふれあいました。

龍ケ崎地域コミュニティ協議会

～「あいさつ声かけ運動」～

龍ケ崎地域コミュニティ協議会では、龍ケ崎小学校児童を対象に「あいさつ声かけ運動」を、市、社会福祉協議会の協力のもと実施しています。当該運動は５年を経過し、スタート時低学年だった児童も高学年となり“明るく大きな声”であいさつする姿が低学年の見本となり、運動の成果が確実に上っているものと思われます。又、長期間に渡り児童に接することで、児童一人ひとりの成長を実感することができ、喜びでもあります。との話が協議会員からありました。

長戸コミュニティ協議会

～グラウンド・ゴルフ大会～

今年で２回目となる長戸コミュニティ協議会主催、グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。前回は初めてのため、スムーズな運営になりませんでしたが、今回は事前に検討・調し準備を進めました。当日は天候にも恵まれ、53名の方々に参加していただき実施することができました。クラブの無い方も、今回”赤い羽根共同募金”で購入したクラブを使い、みんなの輪の中へ入り楽しい雰囲気の中、プレーすることができました。